

第7回 東京都における地域公共交通の在り方検討会 議事概要

1. 日時

令和4（2022）年3月23日（水曜日） 10時30分～12時00分（オンライン開催）

2. 議事

- (1) 中間まとめに関する意見募集の結果について
- (2) 東京における地域公共交通の基本方針（案）について

会議の冒頭に、轟座長から以下のご挨拶がありました。

- まん延防止等重点措置が解除されて、人々の移動が回復しつつある。
- 移動はもとより地域経済を支える公共交通の役割は重要であり、1年半にわたるこの会議での検討を踏まえ、基本方針の取りまとめに向けて議論を行いたい。

その後、事務局より議事についての説明し、その後議論を行いました。

委員からの主な意見は以下のとおり。

- 1年半の検討会の期間中はコロナ禍もあり、長期的にみることの難しさを実感している。この基本方針を柔軟に運用し、アップデートしていくかが重要と考える。

他の意見から意見はありませんでした。

(3) その他

委員から一言ずつ発言をいただきました。主な発言は以下のとおり。

- 広域自治体である都の役割は非常に重要であり、基本方針をまとめたことは意義がある。今後の展開に期待する。
- 今後も様々なモビリティが安全に運行できるように、引き続き議論を行いたい。
- 基本方針で描いた施策を具体的な行動に移すために、都内をいくつかの地域に分け、地域ごとに協議の場を開いてみてはどうか。
- 活性化再生法改正の趣旨を踏まえ、地域公共交通計画の策定を進めたい。
- 公共交通は大変厳しい状況。都には是非引き続きご支援いただきたい。

- 都には、横連携にもつながる行政連絡会の継続的な開催に取り組んでいただきたい。
- 検討や施策出しについて、もう一段深められると良かったと感じている。どうやったら取組をペースアップできるのか、継続して考えてほしい。
- コロナで状況は刻々と変わりつつある。都には、この2年間での変化を踏まえ、取り組んでいただきたい。
- 「地域公共交通」というキーワードに都が初めて向き合ったと認識している。「地域公共交通」という語を軸として、縦割りを排して一体的な交通政策を考えなければならないことが認識されたのはいいことかと思う。様々なモビリティに目を向け、政策を実施してほしい。
- 新しい価値観や手法も生まれている。世界に先駆けて、そういったものに是非取り組んでいただきたいし、それが東京都にはできると思っている。

以上